

令和7年度 取手東小学校 不祥事防止への取り組み

校長 村田 健一

教職員による不祥事は、保護者・地域の皆様、ひいては県民の皆様の学校教育への信頼を失う原因であり、根絶を図らねばなりません。そこで、本校では不祥事の根絶に向けたコンプライアンス確保のために、不祥事を自分事として捉えることができる教職員の意識改革と風通しのよい職場環境づくりのために、下記のように取り組んでいます。

1 校内コンプライアンス研修を定期的実施し、教職員のコンプライアンス意識の高揚を図っています。

不祥事は、飲酒運転、個人情報漏洩、わいせつ、ハラスメント、公金の適切な処理、情報漏洩等、多岐にわたります。本校では校内コンプライアンス委員会を中心に、年間研修計画を作成し、それに従って各場面・事案について研修を行っています。全職員が輪番で講師役を務め、ボトムアップ型の研修を実践しています。具体的には、グループでの協議やロールプレイ等の手法を取り入れ、自分事として捉える意識を高め、自分たちの職場から不祥事を決して出さないという意識の醸成に努めています。

2 不祥事防止のためのチェックリストを作成し、活用しています。

時代や社会の変化により、不祥事の種類も多様化しつつあります。「昔からしている」という感覚では、ある時それが許されない行為として社会から非難を受けたり、信用を失ったりするきっかけになります。そこで、本校では日頃の自分の行動や意識に問題が無いかどうか、事案ごとにチェックリストを作成し、定期的に点検をしています。

3 不祥事に関する通知文や報道等の記事を利用し全職員で共有しています。

不祥事の内容と処分内容等について県教委や市教委の通知文や報道記事など、時期を捉えて具体的な防止策を職員会議や終会の場で話し合い、「自分も不祥事を起こし得る」「自分事として捉える」意識の醸成を図っています

4 何でも話しやすく、相談しやすい職場風土の醸成に心がけています。

教職員の個人的な悩みや、人間関係等のストレスが不祥事発生のきっかけにならないよう、管理職が日ごろから積極的に教職員とコミュニケーションを図り、風通しのよい職場環境づくりに努めています。

取手東小学校の全職員で互いに声をかけあい、「自分たちの職場から不祥事を出さない」を合言葉に、今後も継続して不祥事防止・根絶に取り組んで参ります。